

昭和45年度
1970～1971
委員会活動方針

鹿見島西ロータークラブ

ニ 挨拶

会長 久保田 彦穂

どうも、何事もスローモーションのさかでございまして、今年度の会長に推されて、最初の挨拶に皆さまの前に立ったとき、しみじみと、事の重大さを感じたことございます。私は物語作家という半工業の仕事にたずさわっており、また、私の始めた「母と子の20分間読書」の同志も、全国に、70万人ほどおります。そういうさかへ、話し合うために、各地を飛び廻らねばならぬ仕事を持っておりますので、皆様に迷惑をおかけすることになりはしないかと心配しています。

まあ、併し、就任いたしました以上は、こうした私の生活上の仕事のさかへは、少々手をぬいても可能な限り迷惑を少なくしたいと考えている次第でございします。

「隔りを取り除こう」という本年度の課題は、これは、非常に難しい問題でございしますが、結局は隔りは何人の心の中に存在するものでございします。特に、この隔り、断絶は、日本の家庭の中に、大きく現れております。

親と子の間の橋が崩壊され、ケバ棒という現象は日本の一つの特徴とさえ思われます。

この大きな原因の一つは、日本の「~~父親~~読書」—— かなり

を失ったと云うに思っています。寝物語りをする母親が、風呂にはいりながら美しい物語りを子供に聞かせる母親が戦争のおかげで、影をひそめてしまいました。語り(かたり)は情緒をとめない、感動をとめない理論をこえて、心と心に虹の橋をかけるものであるのに-----母と子の間の語りを失った土壌から断絶の芽がめぐんだと思われます。

本年度は、この語り(かたり)の精神をクラブの会合にも生かして、断絶の時代には、いささかなりとも、いどんでみたいと考えている次第でございます。

幹事就任挨拶

幹事 久保政次

ウィリアム E. ウェブ新R1会長の *Bridge the Gaps*.
"隔りを取り除こう"とのメッセージを受けて、ここに新年度が発足しました。私は幹事として此れからの一年間、会員皆様の奉仕活動に対する御手紙を立せて載く事となり心より光榮に存じて居ります。

我が西クラブも愈々八年目を迎えその友愛に満ちた奉仕活動はますます磐石のものとなりました。

私も八年目のローリー歴となりますが此の度幹事として執行部の事務局を担当するに當り、今年ともまたお蔭で

者の立場に切り勝ちであった自分を反省し今後の如く
 ワークについて自分の勉強の足りなさを痛感して居る
 次第であります。新年を要足に当り私も改めて新入会
 員の気持ちに立ち帰り 会員の皆様と相携えて奉仕の理想
 に励みたく存じますので宜敷くご協力をお願い致
 したく存じます。

尚一言附け加えたのでありますが、マテラ事務局員の
 島津さんが辞められ現在前通生人に事務をお願いして
 居る訳ですが彼女もなかなかよくやってくれますけれども
 新年度からの至願は彼女と17も始めてでございますので
 会員の皆様方の積極的なご指導とご支援を私同様お
 願いしたく存じますのであります。

新卒でありますが一言申し上げ幹事就任の挨拶と致します

S. A. A.

SA A 外西寿彦
 副 SA A 桜美美明

基本方針

- ① 例会の要因気をなごやかなものとし 訪問者によ
 ② 印象をあたえよう。座席の配置を工夫したり。ワーク
 ③ ワーク以外の歌を遊ぶ等努力したく。

計画

1. 親睦委員会と連絡を保ちながら、キコニコBOXの増収をけかり、会員相互の理解と親睦を深めるよう努力したい。

クラブサービス

西郷 隆永

基本方針並に計画

クラブ奉仕の任務は、クラブ奉仕の各委員会の効果的な活動につき、側面から助言し、支援していくことにあります。

本年夏の重点目標であります、「会員の増強」及び「例会と出席の改善」について、当クラブ奉仕も関係の各委員と協同して、達成し、改善するよう努力したい。上記の目標の様に早期に奉仕関係の委員長会(小委員会)を本年お受け継いで催したい。

出席奨励委員会

委員長	巖島 志平太
委員	高井 敏治
〃	高瀬 博明
〃	味原 良

基本方針

出席100%確保

各種会合への出席奨励

×-キャツアの励行.

計画

1. 基本方針を達成するため、会長、幹事の指導の下に、会員全員が協力できるようにしたい。このため、各委員会あるいは、各友人同志で出席を誘いましょう。
2. 出席表彰費を増やしたい。
3. クラブとして各種会合へ出席しやすい体制を研究したい。
4. クラブ員の同伴ゲストを奨励したい。

職業分類委員会

委員長	牧田 健二
委員	小池 鉄太郎
	佐伯 延次郎
	有箇 敦 男

基本方針

1. 当クラブ区域の職業分類調査を行う。
2. 充填、および未充填の職業分類一覧表を作成する。
3. 未充填部向については、当クラブ全会員に協力を求め、その充填を図る。

計画

1. 当クラブ区域のいろいろな事業所及び専門的職業を

調査すると共に区域外に事業所を有しても、その居住所が当クラブ区域内にある人々の職業分類についても調査する。

2. 充填及び未充填の職業分類一覧表は、クラブ全会員に配布し、未充填部向を十分に認識してもらふ。
3. 未充填部内については、全会員はの論、特に会員推薦委員会に全面的協力を求め、各関連職業部(大分類) 10%以内における充填に努めたい。
4. 必要に応じ委員会を開設、未充填部門のみの一覧表をオープンしその充填に協力を求める。

会員選考委員会

委員長	増竹成紀
委員	河井時義
"	森川盛涵
"	土谷久雄

基本方針

クラブ拡大の意義がロータリーの本質である奉仕の實踐をあらゆる機械、あらゆる地域に普及することにある。故に当クラブもあらゆる分野に涉り、よき資質と資格を備えた、やる気のある、会員の増強を推進しクラブの繁栄に資したい。

計画

以上の方針達成のため

1. クラブ会員のニ協会は勿論であるが、特に 職業分類、会員推薦両委員会との連絡を密にしたい。
1. 会員の選考に当っては、出来得る限り委員会を開き、被推薦者の資格品性、その人なりに重きを置き厳正に選考する。
1. 調査判定の結果を可及的敏速、且つ適格に理事会に報告する。

会員推薦委員会

委員長	高田光義
委員	若松新一
"	岩田太一
"	堀井秀志

基本方針

当年度頭初の会員数は61名であるが、これを10名増員し尚減員を見込み、本年度は67名の新会員を入会するよう努力したい。

計画

1. 年度初めの例会及至クラブ協議会において、会員増強計画の効果ある諒解を得るよう会道に諮る。

2. 会員がら広く候補者推薦を受ける。
3. 理事会、職業分類、会員選考委員会を密接に連絡して、適格の決定を迅速に17所期の会員数の増強を完遂する。

プログラム委員会

委員長	藤安 辰造
委員	小山 幸義
"	岩元 健吉
"	永田 良司

基本方針

ローリークラブにふさわしい、品位のある親和感のある卓話が出る様に努め、会員及びビジターが例会に出たよからたという様なプログラムを編成する事を基本方針とし又何々の編成内容はバランスとバラエティを考えて行なう。これがためには、全会員との連絡を密にして卓話の開発を図る。

計画

1. 例会の卓話はゲスト50%、会員25%、映画25%で進める。
2. 予定した例会より少くとも1ヶ月前には卓話者が決る様計画する。

広報委員会

委員長 川上鉄太郎
委員 安楽慶一郎
米倉秀雄

基本方針

ローリーの厂史、綱領及規模、当クラブのプログラム及活動状況について、当クラブ会員個人を通して、また、報道機関を通じて、積極的に広く社会に公開伝達して、ローリークラブに対する正しい認識をもってもらうための計画を立案し、実行する。

計画

1. 新年度会長の方針と拘負を広報
2. マスコミ関係者にクラブ活動、取業奉仕、社会奉仕及、国際奉仕活動に関する情報を提供する。
3. 西ローリー堂受賞者の広報
4. インターアクトクラブの活動情報の広報
5. マスコミ関係者の例会出席と座談会の実施
6. 上記のほか、基本方針を達成するための一切の情報の広報
7. 鹿児島県クラブ合同広報活動

親睦委員会

委員長	島津忠丸
委員	岩元基
〃	片平敦
〃	中山和春
〃	下野隆三
〃	新福均
〃	小園正人

基本方針

会員相互は勿論の事、その家族を含めてクラブの懇親を深めると共に、他クラブとの親睦を深め、ロ-クリ-の活動をより活発に推進する。

計画

従来行われて来た観月会、クリスマスパーティー等の他、会連相互の親睦を深める行事の外、特に他クラブとの懇親会等をも計画したい。

ロ-クリ-情報委員会

委員長	川村 洋
委員	福田敏三
〃	池田 広
〃	徳田 基

基本方針

1. 新入会員にロ-クリ-とは何の特典、義務を理解させる

2. 会員にローグリー、その歴史経緯及び活動についての知識を
与える。

3. 会員に国際ローグリー管理、運営の進展に関する知識を与える。

計画

1. 新入会員の個別指導
2. 新入会員を各委員会の炉辺会合に招待
3. 例会での合同インフォメーションを行う
4. ローグリー関係の情報を週報に記載
5. 文献資料の整備。

会報 雑誌 委員会

委員長	柴山 一雄
委員	岩元 正二
"	池田 稔
"	新福 栄熊

基本方針

会員と理事及クラブと国際ローグリー並に相互間のハイブ
となるようとめます。

1. 興味をそそぐようとする。

出席の増進 親睦の助長

2. ローグリー情報の教育

計画

週報の発行 (欠席者には郵送す)

職業奉仕委員会

委員長	林 幸光
委員	川路 清高
"	塘 一郎
"	瀬上 一郎

基本方針

毎年継続している活動方針をさらに活発に推進した

い。

計画

1. 職場訪問
2. 高校生との話し合い
3. 優良職業人の表彰
4. 中小企業労働者の懇談会

社会奉仕委員会

委員長	洪田 馨
委員	岡山 栄
"	土橋 英夫
"	平原 定一郎

基本方針

関係諸団体の協力を得て、地域社会の切実な要求が何であるかを調査し、当クラブ内の関係委員会と密接な連絡のもとに手近かな事から実行したい。

計画

1. 非行少年の補導活動への援助
2. 身体障害児童施設への援助
3. V-94-賞の継続
4. 災害見舞
5. 地域都市の安全運動、美化運動への協力

青少年
I-9-アクト } 委員会
V-9-アクト

委員長 光吉 正昭
委員 高 義朗
中村 善治
渡辺 匡

基本方針

次の志気を背負う青少年との交流をけかり、V-94-の奉仕の精神を青少年に植えつける様、出来る限り援助をしたい。

計画

1. V-9-フォーゲル運動への協力
2. I-9-アクトクラブとの交流、援助
3. V-9-アクトクラブ " "

国際奉仕委員会

委員長	春山 ジャスティン
委員	田元 健一郎
"	桜美 四郎
"	竹之内 安己

基本方針

世界中のローリーの無類の資源を利用して国際理解、親善、および平和を増進するよう努力に当クラブの全会員を参加させることにあります。

計画

1. 市内3クラブ合同で交換学生を受け入れる。
交換学生を会員家庭に招待するよう定める。
2. 留学生を招き、会員との親睦を計る。
3. 積極的に他国のローリークラブとの交流を進める。
4. 会員が外国に旅行する時には、当クラブの活動や会員を紹介するようなパンフレットを作成する。
5. インターアクトの国際交流の橋渡しとなる。

ロ-クリ-財団委員会

委員長 岡元健一郎

基本方針

1. ロ-クリ-財団活動の趣旨と現状を会員に充分理解してもらふ。
2. クラブの財団寄付金を増加する。
3. 積極的に補助金候補者を推薦する。

計画

1. 国際奉仕委員会と一体となつて、財団週向けもちろん、
その他の社会でも財団に関する情報を伝える。
2. 百ドル食事の他、寄付金増額の具体的方法を検討したい。
3. 補助金候補者を常時準備できるように検討したい。
留学した人達の報告会、地域内へのP.Rを心がけたい。